

2025年6月期 決算説明会資料

目次

■ I. 決算概要

決算サマリー	1
グラフでみる当社グループの推移・動向	2
当社グループの事業内容、セグメント売上高	4
事業セグメント、事業内訳の状況	5
2025年6月期 決算のトピックス	6
配当について	8
財務状況	10
2026年6月期連結業績予想	11

■ II. 今後の事業戦略

基本戦略	12
将来目標	13

■ III. Appendix

セグメントごとの納入事例・紹介	14
事業拠点	22
注意事項	27

SECURITIES CODE : 6061



ユニバーサル園芸社

2025年8月22日

I. 決算概要

決算サマリー

要約連結損益計算書、1株当たり指標

■当期業績は新規M&Aによる売上寄与、新規顧客開拓、販促活動の結果、増収増益

グリーン事業・・・増収増益

卸売事業・・・増収減益

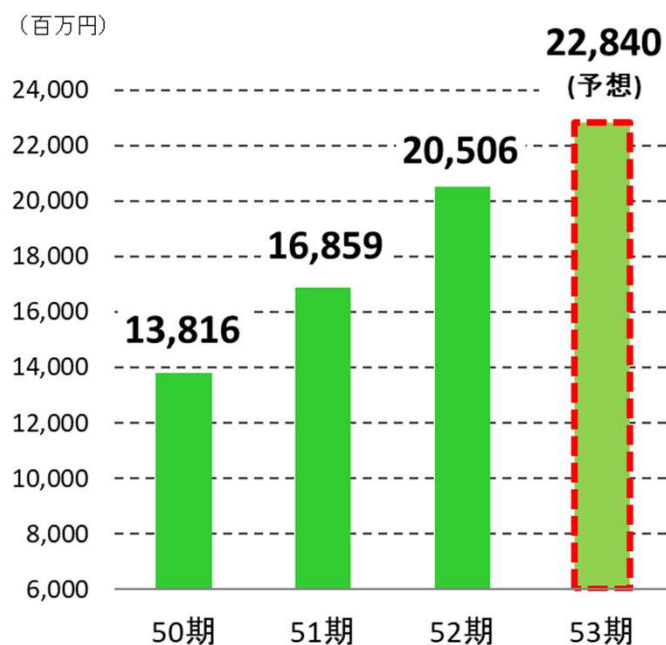
小売事業・・・増収増益

(百万円)

	第51期(2024年6月)		第52期(2025年6月)		
	百分比(%)		百分比(%)	前期比(%)	
売上高	16,859	100.0	20,506	100.0	21.6
営業利益	2,373	14.1	2,651	12.9	11.7
経常利益	2,510	14.9	2,642	12.9	5.3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,636	9.7	1,805	8.8	10.3
1株当たり当期純利益(円)	348.42		388.23		
1株当たり純資産(円)	2,586.50		2,912.91		

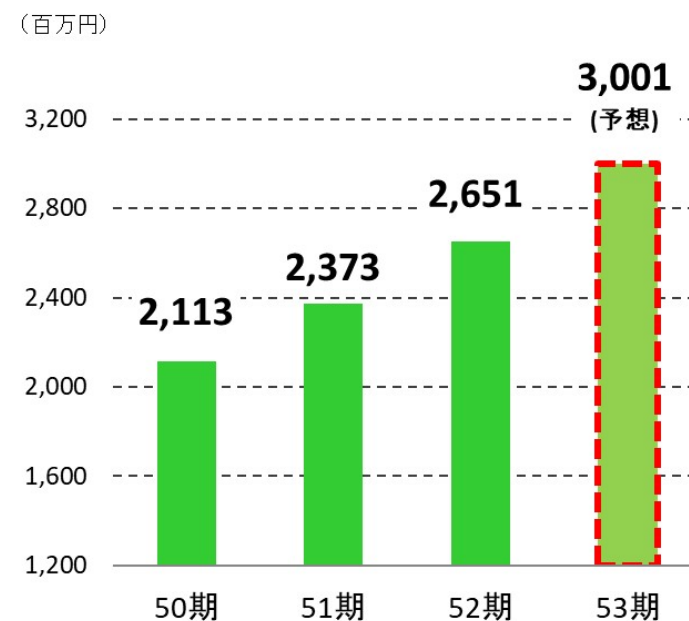
グラフでみる当社グループの推移・動向

売上高



2023/6期 2024/6期 2025/6期 2026/6期

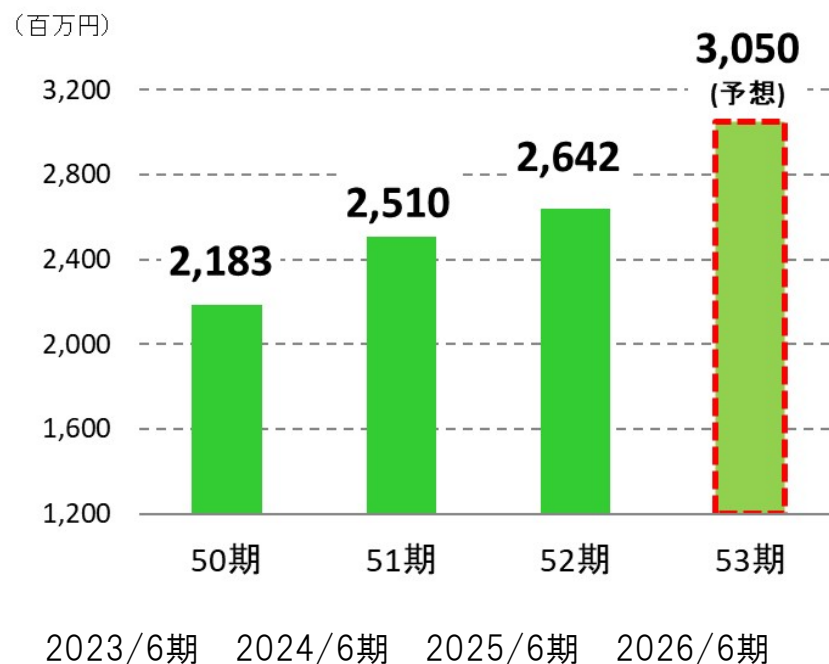
営業利益



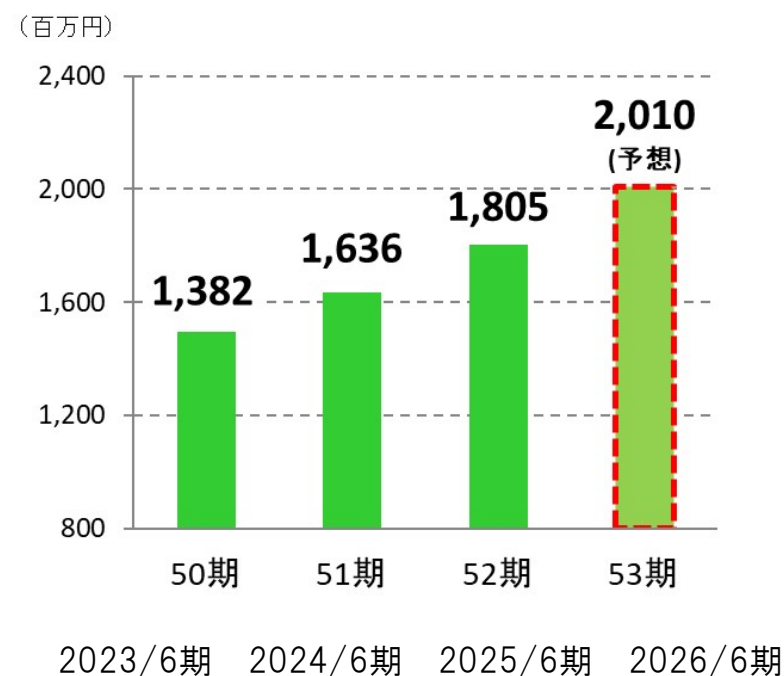
2023/6期 2024/6期 2025/6期 2026/6期

グラフでみる当社グループの推移・動向

経常利益

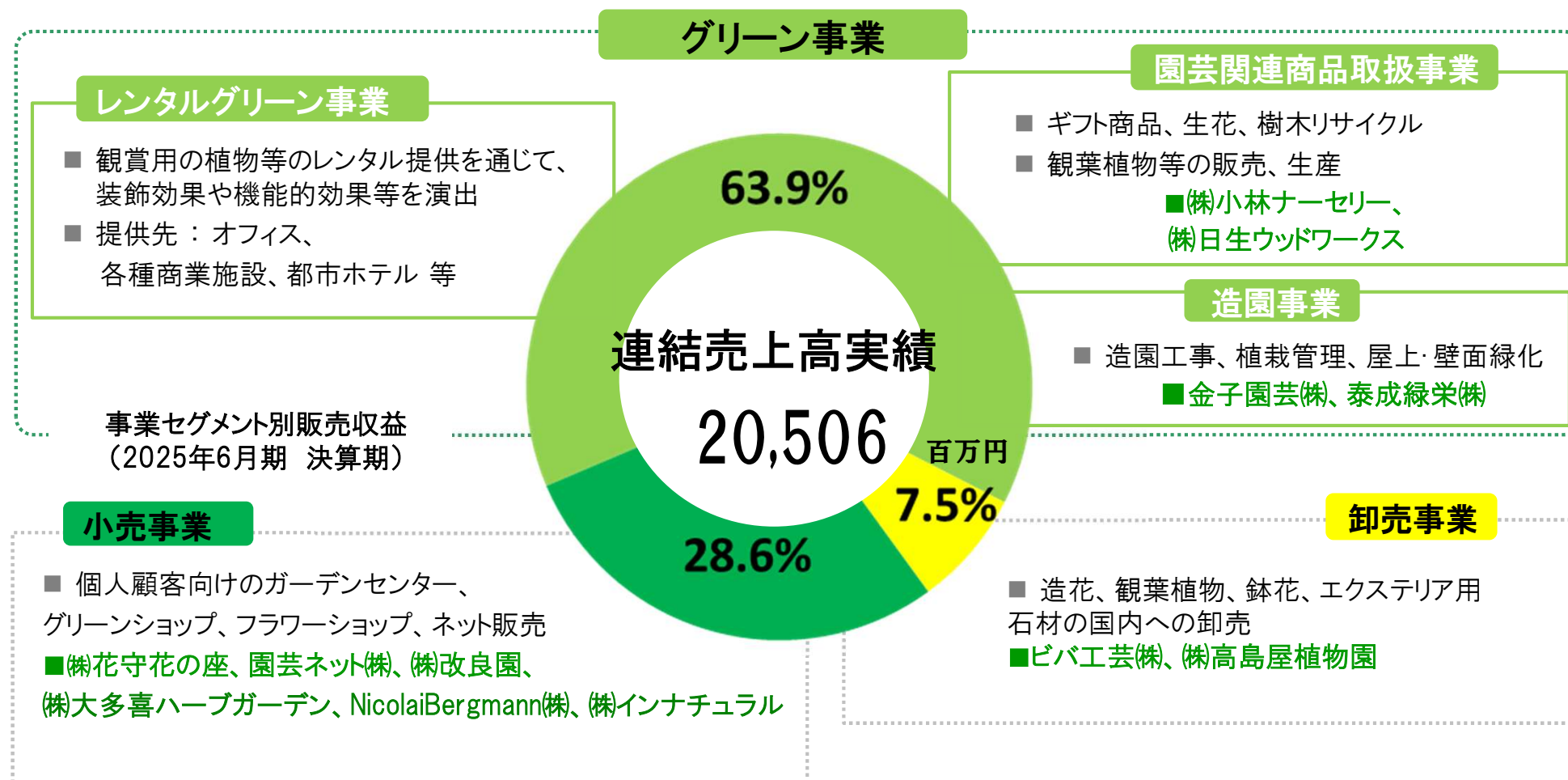


親会社株主に帰属する当期純利益



当社グループの事業内容、セグメント売上高

■ グリーン事業が連結売上高の約64%



※円グラフはセグメント間の内部取引高を含めた比率で表示しております。

事業セグメントおよびグリーン事業内訳（エリア別）の状況

事業セグメント

		(百万円)		
		第51期 (2024/6期)	第52期 (2025/6期)	前期比(%)
グリーン事業	売上高	11,353	13,455	18.5
	営業利益	2,145	2,377	10.8
卸売事業	売上高	1,477	1,569	6.3
	営業利益	127	121	-4.8
小売事業	売上高	4,490	6,027	34.2
	営業利益	46	95	106.2

グリーン事業におけるエリア別内訳

		(百万円)		
		第51期 (2024/6期)	第52期 (2025/6期)	前期比(%)
関東エリア	売上高	5,828	6,773	16.2
	営業利益	1,307	1,468	12.3
関西エリア	売上高	2,567	2,977	16.0
	営業利益	647	799	23.5
海外エリア	売上高	2,957	3,704	25.2
	営業利益	190	109	-42.4

- グリーン事業はレンタルグリーンの契約、マーケティング活動にも注力し、計画通り推移し増収増益
- 卸売事業は植物などの需要が落ち着き、物価上昇に伴う販管費増加を抑止できず増収減益
- 小売事業は猛暑による売上落ち込みはあったものの、M&A等により増収増益

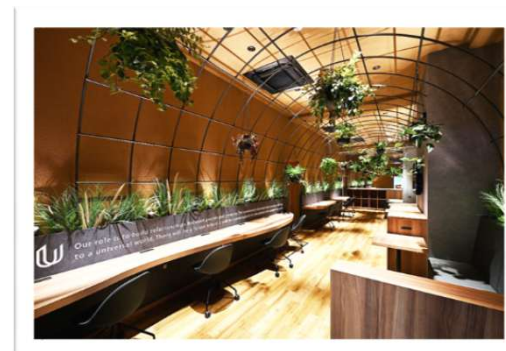
※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2025年6月期 決算のトピックス

①支店開設

- ◆ 2024年7月に、グループの主力事業であるレンタルグリーン事業の拡大を目指し、首都圏における営業活動効率化等を含め、東京都中央区新川に日本橋支店を開設しました。



日本橋支店事務所内

②M&A

- ◆ 2024年8月に、海外におけるグリーン事業の業容拡大のため、ローリング・グリーンズ・インク社がプラントスケープ社をグループ化しました。

事業内容: 植物のオフィス等に向けたデザイン・販売・メンテナンス

所在地: アメリカ ペンシルバニア州(ピッツバーグ)



日本橋支店外観

- ◆ 2025年4月に、グリーン事業の業容拡大のため、吉村造園株式会社をグループ化しました。

事業内容: 造園、植栽管理

所在地: 埼玉県鴻巣市



プラントスケープ社集合写真

2025年6月期 決算のトピックス

③新規出店

- ◆ 2024年7月に、グループ会社の(株)花守花の座が大阪市内にあるKITTE大阪に出店しました。

店名: ファレットフルールKITTE大阪店

事業内容: 小売事業 生花及び園芸資材の販売 <http://www.falette.com/>

所在地: 大阪府大阪市北区梅田 JPタワー大阪1F KITTE大阪内



ファレットフルールKITTE大阪店舗外観

- ◆ 2024年12月、生花店フルールユニヴェセールが移転し、リニューアルオープンしました。

事業内容: 小売事業 生花及び園芸資材の販売 <https://fleur-universelle.com/>

所在地: 東京都港区南麻布 六幸館1階

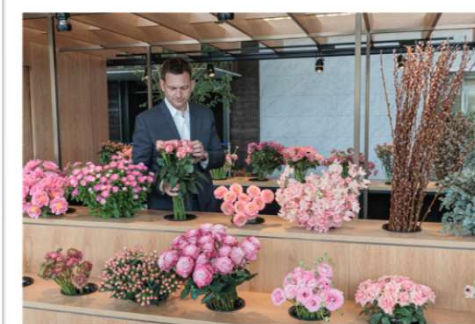


フルールユニヴェセール店舗外観(夜景)

- ◆ 2025年3月に、グループ会社のニコライバーグマン(株)が東京都港区にあるニューマン高輪に出店しました。

事業内容: 小売事業 生花及び園芸資材の販売 <https://www.nicolaibergmann.com/>

所在地: 東京都港区高輪 ニューマン高輪North 2F



ニコライバーグマン高輪店舗外観

配当について

剰余金の配当、方針について

- ・先行き不透明な情勢の中、積極的な事業投資、M&Aへの資金確保、新たなチャレンジ、出店への資金として内部留保の確保等により財務体質と経営基盤の強化を図ります。企業価値向上および、株主への長期的な利益還元を経営上の重要政策と認識し、継続的かつ安定的な配当を実施します。
- ・配当水準については、安定的な株主還元を主軸に、利益水準や市場動向を踏まえて適宜見直しを検討します。
- ・令和7年6月期は1株当たり25円から1円増配し、1株当たり26円となる予定です。

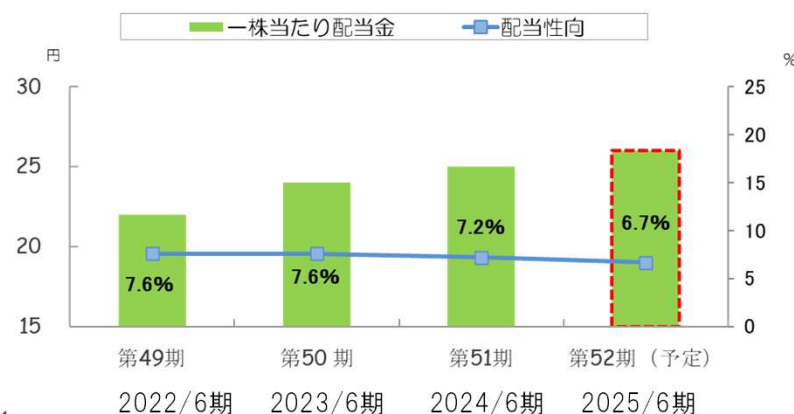
株式分割について

- ・投資単位当りの金額を引き下げ、投資家の皆様に、より投資しやすい環境を整え、株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的とします。
- ・令和7年12月31日を基準日として、1株につき2株の割合をもって分割します。

配当総額の推移

2021年6月期	96,088,220円
2022年6月期	104,595,964円
2023年6月期	112,903,104円
2024年6月期	116,306,275円
2025年6月期	119,732,860円(予定)

配当金の推移



配当について

株主優待制度

- ・株主の皆様の日頃のご支援への感謝とともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に中長期的に保有していただくことを目的としております。
- ・当決算期より、配当における利益還元とのバランス等を総合的に勘案した結果、優待制度を一部変更いたします。

変更前

基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬
12月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	3月上旬



変更後

基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 3,000円 分	9月下旬
12月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	3月上旬

※令和7年6月決算期より実施の内容となります

財務状況

連結貸借対照表

第51期 決算期(2024/6月末)

(百万円)

流動資産	7,654	流動負債	2,205
(うち手元流動性)	4,539	固定負債	1,050
固定資産	7,665	負債計	3,255
(うち投資その他資産)	2,550		
		純資産計	12,063
総資産計	15,319	負債・純資産計	15,319

※78.7%

第52期 決算期(2025/6月末)

(百万円)

前期末比(%)			前期末比(%)		
流動資産	8,438	10.2	流動負債	2,336	5.9
(うち手元流動性)	4,964	9.4	固定負債	1,250	19.1
固定資産	8,597	12.2	負債計	3,587	10.2
(うち投資その他資産)	2,903	13.8			
			純資産計	13,448	11.5
総資産計	17,035	11.2	負債・純資産計	17,035	11.2

※78.9%

※自己資本比率

※手元流動性は、当社連結貸借対照表の流動資産項目のうち、現金及び預金並びに有価証券の合計額を記載しております。

2026年6月期連結業績予想

業績予想のポイント

物価高騰、不安定な為替の動向で先行き不透明な状況、、、

- 仕入原価のコントロールおよび経費削減等による収益力強化
- レンタルグリーンのシェア拡大および既存顧客の契約維持
- 小売事業の消費拡大、経費削減、堅実な経営をベースに新規出店検討
- 海外事業の既存顧客の売上確保、新規M&Aによる拡大、および経費削減
- レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注拡大

(百万円)

	第52期(2025/6期)		第53期予想(2026/6期)		
	百分比(%)		百分比(%)		前期比(%)
売上高	20,506	100.0	22,840	100.0	11.4
営業利益	2,651	12.9	3,001	13.1	13.2
経常利益	2,642	12.9	3,050	13.4	15.4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,805	8.8	2,010	8.8	11.4
1株当たり当期純利益(円)	388.23		436.57		
1株当たり配当金(円)	26.00		26.00		

※1株当たり当期純利益、配当金は株式分割前の記載となります

II. 今後の事業戦略

1 グリーン事業の強化

- 多数の幅広い顧客による支持→技術力、サービス力向上→顧客満足度の向上より企業価値の向上
- レンタルグリーンのシェア拡大→レンタルグリーン市場における当社の国内シェア推計9%程度※
- 造園、生花事業の拡大

2 M&Aによる業態の拡大

- 相乗効果による事業拡大

3 新商材・販路拡大

- 成熟化市場に対して需要喚起をもたらす新商材やネット通販など新たな手法を導入

4 小売事業へのチャレンジ

- フラワー、グリーン、ガーデンショップの店舗数を拡大

5 海外事業の展開

※当該推計値は矢野経済研究所「フラワー・＆グリーン市場に関する調査結果2019」のグリーン市場におけるリースレンタル業404億円に対する、2025年6月期の当社単体売上高における、レンタルグリーン売上高3,618百万円の割合を記載しております。

中期目標

世界一の園芸会社

2028年6月期(第55期)

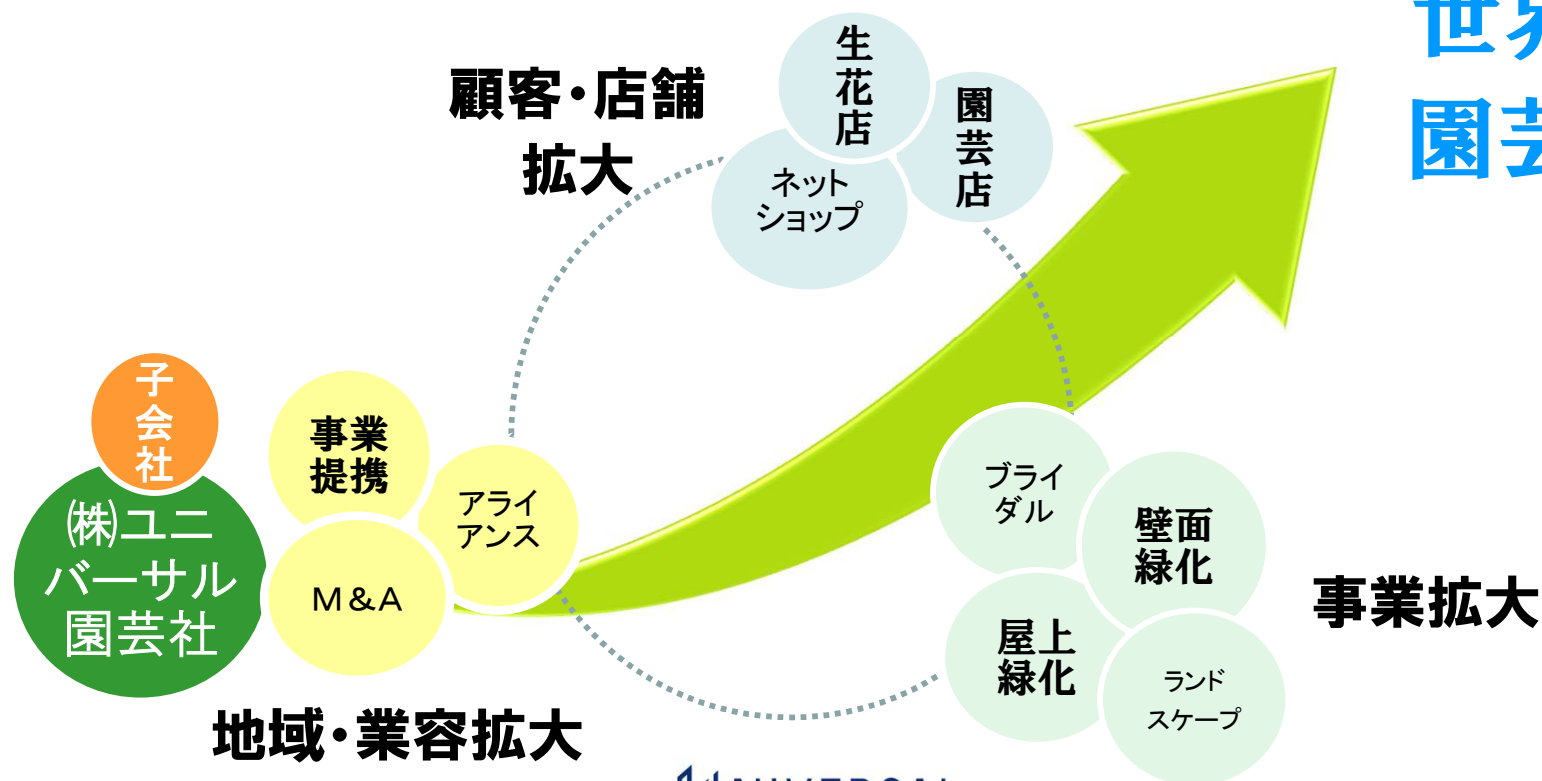
売上

連結売上高 300億円

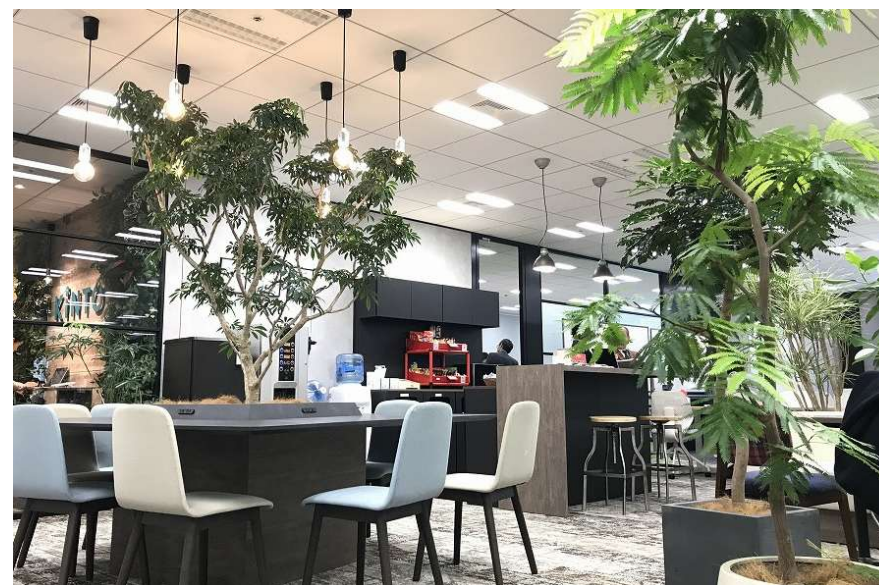
利益

連結当期純利益 30億円

事業戦略推進のイメージ



セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン） オフィス、エントランス他

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン）室内装飾、アートフラワー

セグメントごとの納入事例・紹介

2007年12月 上海進出(上海寰球園芸産品租賃有限公司)

2015年4月 ワシントンD.C.進出 ローリング・グリーンズ・インク社を子会社化

2016年2月 セッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インク社より、2支店を事業譲受

2016年5月 プレミア・プラントスケープス・エルエルシーより、植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を譲受

2018年6月 シンガポール進出、ミラー・ジュ・グリーン社を子会社化

2023年6月 ローリング・グリーンズ・インクによるインナーグリーン・インクの事業譲受

2024年8月 ローリング・グリーンズ・インクによるプラントスケープ・インク社の事業譲受



グリーン事業（海外エリア 上海/アメリカ/シンガポール）

セグメントごとの納入事例・紹介



ネットワンシステムズ様



船井総研グループ様

グリーン事業（造園事業、外構植栽、屋上緑化、壁面緑化）

セグメントごとの納入事例・紹介



フジクラ様



横浜赤レンガ倉庫様

グリーン事業（季節商品（クリスマス等）、イベント、ブライダル事業）

セグメントごとの納入事例・紹介

ガーデンセンター

「the Farm UNIVERSAL」
(ザ ファーム ユニバーサル)

・大阪本社、千葉

グリーンショップ

「the Farm UNIVERSAL」
(ザ ファーム ユニバーサル)

・グランベリーパーク南町田、ロフト銀座店

「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」 ・ランチ神戸学園都市店、イオンモール四條畷店

「SOW the Farm UNIVERSAL」

・くずはモール店、EXPOCITY店、幕張新都心店

「WORLD GARDEN」

カフェ

「FARMER'S KITCHEN」
(ファーマーズ キッチン)

・大阪本社、千葉、グランベリーパーク南町田

フラワーショップ

「Fleur Universelle petit」 ・東急プラザ蒲田店
(フルール ユニヴェセール プティ)

「Fleur Universelle」 ・広尾店
(フルール ユニヴェセール)



(ザ ファーム ユニバーサル大阪)



(ファーマーズキッチン大阪)

小売事業(the Farm UNIVERSAL / FARMER'S KITCHEN / りこしえ)

セグメントごとの納入事例・紹介



(園芸ネットHP)



■ 植物カタログ

「Green Shop」と「お花やさん」というカタログは年2回、購入履歴のあるお客様に送付しています。「園芸世界」というカタログは有料年間会員2,500名に年6回送付しています。

(改良園カタログ)

小売事業(園芸ネット、改良園)

セグメントごとの納入事例・紹介



(高島屋植物園園芸センター)



(ビバ工芸)

卸売事業(高島屋植物園、ビバ工芸)

事業拠点①

- 東京・名古屋・大阪の3大都市圏を中心としたサービス提供網を構築
グループ会社を含め、世界へ拠点を展開

【ユニバーサル園芸社本支店】16事業所

○関西エリア

大阪本社、京滋支店、神戸支店、大阪南支店

○中部エリア

名古屋支店、東海フラワー事業部

○関東エリア

東京本社、東京南支店、東京東支店、東京西支店、東京北支店、横浜支店、
東京中央支店、目黒支店、両国支店、日本橋支店

事業拠点②

【店舗】39店舗

●関西エリア

○GREEN SHOP

- 1.ザファーム大阪
- 2.りこしえイオンモール四條畷店
- 3.りこしえ ブランチ神戸学園都市店
- 4.ソウ ザファームくずはモール店
- 5.ソウ ザファームEXPOCITY店

○Cafe

- 1.ファーマーズキッチン大阪

○FLOWER SHOP

- 1.ファレットフルール中山寺店
- 2.ファレットフルール西宮北口店
- 3.ファレットフルール宝塚店
- 4.ニコライバーグマン フラワーズ&デザイン大阪店
- 5.ニコライバーグマン フラワーズ&デザイン福岡店
- 6.ファレットフルールKITTE大阪店

○いちご園

- 1.ストロベリーファームN0.15

事業拠点③

●関東エリア①

○GREEN SHOP

- 1.ザファーム千葉
- 2.ザファーム南町田
- 3.ザファーム銀座
- 4.ソウザファーム幕張新都心店
- 5.ワールドガーデン(小岩)

○Cafe

- 1.ファーマーズキッチン千葉
- 2.ファーマーズキッチン南町田
- 3.大多喜ハーブガーデン
- 4.カフェノム青山
- 5.カフェノム麻布台

○FLOWER SHOP

- 1.フルール・ユニヴェセール(広尾)
- 2.フルール・ユニヴェセールプティ(蒲田)
- 3.フラアート花門新横浜プリンスペペ店
- 4.ニコライバーグマン フラワーズ&デザイン南青山店
- 5.ニコライバーグマン フラワーズ&デザイン麻布台店
- 6.ニコライバーグマン フラワーズ&デザイン新宿店
- 7.ニコライバーグマン フラワーズ&デザイン六本木店
- 8.ニコライバーグマン フラワーズ&デザイン高輪店

○HERBS SHOP

- 1.大多喜ハーブガーデン

事業拠点③

●関東エリア②

○GREEN SHOP(衣料、生活雑貨含む)

1. インナチュラル ダイナシティ小田原店
2. インナチュラル テラスモール湘南店
3. インナチュラル ららぽーと富士見店
4. インナチュラル ららぽーと海老名店
5. インナチュラル セブンパークアリオ柏店
6. インナチュラル テラスモール松戸店
7. インナチュラル イオン新浦安店

事業拠点④

【グループ会社】17社

[国内連結子会社]

(子会社化)

1. ビバエ芸(株)＜卸売事業＞ 2009年11月
2. (株)花守花の座＜小売事業＞ 2013年 2月
3. (株)高島屋植物園＜卸売事業＞ 2015年 4月
4. 園芸ネット(株)＜小売事業＞ 2018年 10月
5. (株)小林ナーセリー＜グリーン事業＞ 2020年 7月
6. 金子園芸(株)＜グリーン事業＞ 2022年 8月
7. (株)改良園 ＜小売事業＞ 2022年 11月
8. (株)維苑 ＜グリーン事業＞ 2023年 7月
9. (株)日生ウッドワークス ＜グリーン事業＞ 2023年 7月
10. (株)大多喜ハーブガーデン ＜小売事業＞ 2023年 8月
11. 泰成緑栄(株)＜グリーン事業＞ 2023年 9月
12. Nicolai Bergmann(株)＜小売事業＞ 2023年 12月
13. (株)インナチュラル＜小売事業＞ 2024年 3月
14. 吉村造園(株)＜グリーン事業＞ 2025年 4月

[海外連結子会社]

1. 上海寰球園芸産品租賃 有限公司＜グリーン事業＞
(2007年12月設立)
2. ローリング・グリーンズ・インク社＜グリーン事業＞
(2015年4月子会社化)
3. ミラージュグリーン社＜グリーン事業＞
(2018年6月子会社化)

注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ユニバーサル園芸社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2025年8月22日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資に際しての最終的なご判断は、投資家ご自身がなさるよう、宜しくお願い致します。